

# 郡上の山をもっと知ろう!!

## 郡上市の木育

郡上市は、面積の9割を森林が占めていますが、私たちは森林や木に接することが少なくなっています。

市では、将来の山・地域・林業を支える人材の育成を目的に学校等と連携し、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用のうえ、森林学習・木育を推進しています。

## 木育ってなに

子どもの頃から木を身近に感じることで、人と山や森、木との関わりを考える心を育てる取り組みを「木育」と呼びます。

## 取り組みを紹介します

### ◆学童用机保護天板の製作

市内の小学校4校で、児童が県内産の間伐材から作られた学童用机保護天板（YUMEITA A：夢板）を仕上げました。裏面には、将来の夢や今年の目標を書き、手形を押し完成させました。



YUMEITA 将来の夢を書き、手形を押し、自分で仕上げる



森林学習 身近な木の葉を観察する

授業の中では、郡上の森林について学ぶとともに、夢板となる木

が、木を伐る人↓製材する人↓組み立てる人↓塗装する人など多くの人の手を経て届いていることを学び、自分と森林や木材とのつながりを考える機会となりました。なお、夢板は毎年の成長を記録し、卒業時にファイル型に加工し児童に贈られます。

### ◆マイ下駄づくり

市では、木育教材として新たに「おどり下駄」を加えました。今年度は、市内の小中学校11校で、夏のおどりシーズンに向け、市産材のヒノキを材料に自らデザイン、仕上げ、鼻緒の取り付けを行い、世界で一つだけの「おどり下駄」を製作しました。こ



マイ下駄自分だけのおどり下駄を作る

こでも郡上の森林について、植林↓伐採↓製材↓加工など、林



プレーパーク 山の中や木工で遊ぶ

業に携わる人たちとのつながりや役割を学ぶとともに同時に地域文化の重要性についても学びました。

### ◆「郡上プレーパーク」開園

大和町のかえるつこくらぶにより「郡上プレーパーク」が大和ふれあいの家のグラウンドに開園しました。プレーパークとは、「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーにした遊び場で、子どもの自主性や主体性、コミュニケーション能力などを育むことを目的とした学校外における森林学習・木育の実践の場です。

今年度は7日間開園し、延べ439人が参加しました。山の中の秘密基地づくりや、幼児から小学生までいろいろな年齢の

子が一緒に遊んだり、焚火や木工などを親子で取り組んだりするなど、参加者が思い思いに楽しむ姿が見られました。また、一般社団法人TOKYO PL AY代表理事嶋村仁志さんの講演会も開催され、参加者は熱心に聞き入りました。

### ◆「ぎふ木育ひろば」の開設と

ぎふの木のおもちゃの導入 昨年度のはちまん児童館、大和町にあるバンビの森に続き、たかす児童館に県内産の木でつくられたミニ平均台や木のおもちゃを導入した木育ひろばを開設しました。幼児期から木に親しみ、保護者のみなさんにも木の良さを感じていただける拠点が増えました。



木育ひろば 木のおもちゃに触れて遊ぶ

### 【問い合わせ先】

農林水産部 林務課  
67・2121